西千十郎左衛門尉殿を大将軍として
都を出て向かはれ、淀石橋の上京の方
を焼き払ひ、法華堂を焼かれ
山崎を過ぎ、今度の合戦は
文中第二年九月十八日、軍の
の作法、ひとし、新田殿の法華堂
合戦の元亨四年、結城中将
四万八千騎にて、
う小姓、合戦七郎として
いふ七郎、若き者の
中にて、山七郎を連れ
れ、最の道行七郎
知ふ、この知の具
宮を捨てとして御
彦七の音連、法山
（後の中将宗
ふ、と思ふ、
貴を打殺し、
同じ、
中にて、
人、
知ふ、
宮を
彦七
（後の
ふ、と
貴を